

授業科目名	キャリアデザイン（3）	単位数	1
担当教員名	古川 潔	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
「学位授与の方針」との関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人と仕事の共生について考えるためのツールとしてキャリア理論、情報活用、思考法を学ぶ。</li> <li>・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につける。</li> </ul>			
授業の到達目標及びテーマ <p>自身のキャリアをデザインしていくためのツールセットを修得する。</p> (1) 様々な事業や会社について、就職とは異なる視点から俯瞰する (2) クランボルツ、ホランド等のキャリア理論を自身のキャリア検討に適用し活用する。 (3) 創造的思考法のツールを学び、実践する。			
授業の概要 <p>本講座では「キャリアデザイン=就活」という視点から一度離れ、世の中の会社がどのような理念に基づいて活動しているかを知るところを起点として、自身が求める会社像を描いてみることに取り組む。そのために必要な、以下の項目を学修する。</p> (1) インターネット上のコンテンツとその活用方法 (2) キャリア理論、キャリアモデル (3) 事業のチームを活性化するための創造的な思考法 <p>さまざまな場所、立場、動機で参加している他の受講生との対話を通じて学びを深められるよう、グループディスカッション等のアクティブラーニングの手法も用いて実施する。</p>			
授業計画 <p>第1回：企業研究① 創設者と会社の足跡をたどる  第2回：企業研究② 経営理念について知る  第3回：キャリア理論 クランボルツの考え方  第4回：キャリア理論 ホランドなどの考え方  第5回：日本版O-NETの活用① アクセスと利用方法  第6回：日本版O-NETの活用② 働き方関連項目の学修  第7回：3軸8クラスターキャリアモデル① モデルのしくみ  第8回：3軸8クラスターキャリアモデル② アセスメント事例から学ぶ  第9回：イノベティブな考え方① リフレーミング、オズボーンのチェックリスト等発想法  第10回：イノベティブな考え方② マシュマロ・チャレンジ  第11回：他人プロデュース① 事例検討  第12回：他人プロデュース② 実践演習  第13回：働き方のバリエーション① ワークライフバランス</p>			

第14回：働き方のバリエーション② マネープラン

第15回：まとめ ①～④までのレポート・ワークシートをまとめて、ポートフォリオを作成する。

スクーリングでの学修内容

上記 ①～⑤までをスクーリングで実施する。

テキスト

なし ※ 大学作成のワークシートを利用します。

参考書・参考資料等

(1)ティナ・シーリグ『未来を発明するためにいまできること』CCCメディアハウス

学生に対する評価

スクーリング評価（50%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。